

＜中央公民館使用団体聞き取り調査＞

	さざなみ会	吟友会	民謡サークル	フラワーアレンジメント	裏千家茶道愛好会	舞★華	花愛好会
方法	面談	面談	電話聞き取り	面談	面談	面談	面談
町側	鈴木主幹、笹	鈴木主幹、笹	鈴木主幹	鈴木主幹、笹	鈴木主幹、笹	鈴木主幹、笹	鈴木主幹、笹
実施日	令和元年 6 月 7 日	令和元年 6 月 1 1 日	令和元年 6 月 1 1 日	令和元年 6 月 1 2 日	令和元年 6 月 1 3 日	令和元年 6 月 1 7 日	令和元年 6 月 1 9 日
一月あたりの活動回数	4 回（毎週水、金曜日）	4 回（火曜日）	1 回（毎月 2 0 日）	1 回（主に第 2 水曜日）	2 回（第 2、3 木曜日）	4 回（毎週月曜日）	2 回（水曜日）
活動時間	10:00～12:00、13:00～15:00	13:00～16:00	19:00～22:00	19:00～21:00	18:00～22:00	19:00～22:00	17:00～19:00
活動内容	大正琴	詩吟	民謡	フラワーアレンジメント	茶道	よさこい踊り	フラワーアレンジメント
主な活動場所	2 0 1 会議室	2 0 1 会議室	2 0 1 会議室	ホワイエ、2 0 1	3 0 3・4 会議室	大ホール	2 0 1 会議室
中央公民館解体後の活動場所について	会員は全員高齢者であり、デマンドタクシーや自転車といった交通手段で中央公民館に集まっている。 解体により、活動場所が農改センター等の線路を越えた先になるのならば、集まるのが困難となるため、さざ波会を解散し、活動を辞めなければいけないと考える。	会員のほとんどが自家用車で活動に来ており、農改センターでも活動は可能と考えるが、できれば現中央公民館の場所で活動できることを望む。 活動場所が変わっても会の活動は続くと思う。	農改センターを利用することについては問題なし。 ただし、中央公民館と比べ部屋数が少ないため、希望する日に使用できるかについては心配。	農改センター、生きがい交流館での活動も可能と考えるが、移動は大変になる。現在地に小松地区交流センターが整備されるのであれば、そこで活動したい。 他地区交流センターでは、地区の文化団体の活動を受け入れている。	農改センターに活動場所を移すことは可能だが、中央公民館に置かせてもらっている茶道の道具も一緒に移す必要があり、そのためのスペースが必要。	農改センターの大ホールであれば、通いやすさや広さも問題ないとする。生きがい交流館は活動するには狭い。	会員 4 人のうち、3 人が役場職員であるため、仕事終わりに参加しやすい中央公民館で活動してきた。新庁舎建設後は、農改センター等の新庁舎周辺での活動を考えている。
跡地に中央公民館的機能を希望するか	今後も活動を続けることも考えると、跡地に公民館的機能のような活動場所があると良い。	できるのであればありがたい。吟友会としての活動場所は 2 0 1 会議室の半分程度の広さがあれば十分。		現在地での活動を希望しているので、あると良い。 整備される小松地区交流センター内で活動できればありがたい。	米沢の交流センターや、おきたま農協の本店等の比較的最近整備された場所は炉が切られている。茶室が設けられている。	可能であれば現在の場所での活動を希望するため、跡地に整備される小松地区交流センターで活動できるような場所があれば良い。大きさは現在の大ホールの半部程度でよい。	活動にあたり、必要性を感じない
その他	役場の財政状況を鑑み、無理のない範囲でとのこと。 これからの世代が活動する場所として現在の位置に活動場所が必要ではないかとの訴えであり、さざ波会のためにも現在の位置に中央公民館的機能が必要とのことだった。 会員は 1 1 人おり、水曜日に 5 人、金曜日に 6 人がそれぞれ月 2 回活動している。	吟友会は母体が全国的な組織であり、置賜一円での会員数は約 4 0 0 人。川西町は 1 3 人。会は 3 5 年程続いている。 会員の方はほとんど小松在住。中郡が 2 人、吉島が 1 人。	会員数は約 1 0 名で、犬川、吉島、中郡、南陽市と各地区から自家用車を運転し通っている。 活動日は基本的に毎月 2 0 日で、8 月、1 2 月ごろに懇親会を開催。 高齢者が多く畳に座るのが困難であるため、主に 2 0 1 を使用。	第 2 水曜日の活動が基本だが、先生の花屋さんの都合で変わることが多い。足腰への負担を考え、椅子・机の場所で活動している。 会員は全員で 1 6 名で、中郡 1 名、玉庭 2 名、犬川 1 名。小松 1 2 名で構成されており、ほとんどが自家用車を運転し通っている。 成人大学の流れを汲んでおり、会の活動は 2 0 年近くになる。 農改センターは冷暖房費が割高になるため、使用したくないとのこと。	活動は 4 0 年以上続いている。会員は 6 名で、吉島、玉庭、大塚、小松、長井市から来ている。活動は、月 3 回で第 1～3 週の木曜日に行っている。 「茶道」であり、襖の開閉等の立ち居振る舞いを学んでいる。	7 名前後で活動しており、会員は町内各地から自家用車で集っている。鍵の管理まで使用団体が行うこととなると大変なので、管理者が常駐しているような管理方法を望む。 町内には屋内遊戯場、屋外遊技場等の子どもの遊ぶ場所がないように思われる。跡地にはそのような機能を取り入れることはいかがか。	毎回、授業料を会員より徴収し運営しているため、貸館料が高い施設を使うことは好ましくない。

子供将棋	香保里会	こぶし会	川西町川柳倶楽部	兜折同好会
面談	面談	面談	面談	面談
鈴木主幹	鈴木主幹、笹	鈴木主幹	鈴木主幹	鈴木主幹
令和元年6月19日	令和元年6月20日	令和元年6月20日	令和元年6月27日	令和元年6月27日
4回（毎週日曜日）	4回（毎週木曜日）	1回（曜日は不定）	年8回程度（土・日中心）	1回（月曜日）
9:00～11:00	9:00～16:00	13:30～15:00	不定	13:00～15:00
将棋	日本舞踊	読書	川柳	折り紙
301・2会議室	301・2会議室	201会議室、視聴覚室	201会議室	201会議室
農改センターや生きがい交流館、その他自治会公民館での活動が可能。	会員は全員、自家用車を運転してくるため、農改センター、生きがい交流館での活動も可能。	中央公民館が無くなれば、他の活動場所を探すしかない。会長は自家用車、その他会員は家族の送迎で活動に参加しているため、農改センター、生きがい交流館までの移動は問題ない。	ほぼ全員が車を使用するため、農改センター、生きがい交流館等への移動は問題ない。	少人数の活動であり、中央公民館以外での活動については何ら問題ない。場合によっては、観光協会事務室での実施も可能。
新たに整備される小松地区交流センターが利用できればベスト。	整備される小松地区交流センターに畳の部屋があれば、使用したい。	新たに整備される小松地区交流センターが利用できればベスト。しかしながら、小松地区以外の団体の利用を断られるのではないかと不安はある。	中央公民館以外でも問題はないが、新たに整備される小松地区交流センターに活動場所を確保してもらえるならば最良。	-
活動は畳の部屋で行っている。	会員は全員小松在住。稀に指導者の自宅（高畠）でも活動することがある。素足で活動するため、畳の部屋での活動となる。	会員は3人で、会長は飯豊町から、その他2名は小松地区在住。会長以外は、中央公民館まで家族から送迎されている。町の主要な機能が駅東に集中することについては、若干の不安がある。	会員は20～30人。町全域から会員は集うが、小松地区の会員が多い。201会議室が活動場所なのは、階段の昇降が少ないため。	観光協会が材料、会場を手配。5～6名での活動。